

## 第 11 回（平成 28 年度第 5 回）CPD 運営委員会議事録

日時：平成 29 年 2 月 23 日（木）15:00 ～ 17:30

場所：森戸記念館 2 階 第 2 会議室

出席者：（順不同、敬称略）

広崎膨太郎会長、横内貴志男委員、木村軍司委員、奥津良之委員、尾崎章委員、  
日比谷啓介委員

議題：

1. 前回議事録の確認について
2. 各委員会報告
3. 広報、HP 更新関係について
4. H29 年度春季シンポジウムについて
5. CPD 協議会次期運営体制について
6. その他

配布資料：

- 1) 日本工学会 CPD 協議会 役員・委員、各委員会名簿（平成 29 年 2 月 23 日現在）
- 2) 第 10 回（平成 28 年度第 4 回）CPD 運営委員会議事録（案）（H28.11.24）
- 3) 平成 28 年第 5 回（第 54 回）CPD プログラム委員会議事録（案）（H29.2.9）
- 4) 第 6 回 ECE プログラム委員会議事録（案）（H28.12.27）
- 5) 第 38 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録（案）（H29.1.24）
- 6) CPD 協議会広報委員会会議メモ（H29.1.17）
- 7) HP の更新について
- 8) H29 年度春季 CPD 協議会公開シンポジウムについて

議事：

1. 各種委員会の委員名簿確認

一連の委員名簿を確認し、次の点を再確認することとした。

- ・ CPD 協議会、及び CPD プログラム委員会の地盤工学会委員である規矩委員の交代についてまだ先方からの連絡がないため、広崎会長ルートで地盤工学会に確認することにした。

2. 前回議事録確認

石原幹事が所用により欠席のため、広崎委員長より資料 3) に沿って H28 年 11 月 24 日 (木) 開催の第 10 回 (平成 28 年度第 4 回) CPD 運営委員会議事録 (案) の説明があり、未決事項に関する個人名削除など一部修正のうえ、これを確認した。

3. 各委員会報告

1) CPD プログラム委員会活動報告

木村幹事より資料 3) 平成 28 年第 5 回 (第 54 回) CPD プログラム委員会議事録 (案) を使って CPD プログラム委員会の活動報告があり、以下を確認した。

- ・ 協議会HPの“CPD プログラム”欄が現在空欄となっているが、“CPD プログラムの目的”の欄に入れるべき文案が木村幹事より示された。この文案を広報委員会奥津委員長にて最終確認し、なるべく早期に空欄を埋める作業を行うことを確認した。また、現在、“CPD プログラムの目的”の見出ししか無いが、“CPD 活動事例”の見出しを追加して、今後の報告事例のアーカイブ化に備える。

- ・ 次回 CPD プログラム委員会から幹事が尾崎委員に交代するため、次回委員会日程は横内委員長と尾崎幹事にて相談の上決定し、委員に通知することとした。

2) ECE 関連委員会活動報告

奥津幹事より、資料 4) 第 6 回 ECE プログラム委員会議事録 (案) (H28.12.27) および資料 5) 第 38 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録 (案) (H29.1.24) に基づき ECE プログラム関係の活動報告がなされた。主たる報告事項は以下の通り。

- ・ 現在実施中の二つの ECE プログラムは順調に進行している。NIMS 主催の“物質・材料基礎 ECE プログラム”は参加者の満足度も高く、文科省の女性研究者研究活動支援事業との連携も好評で順調に推移している。計測自動制御学会主催の“SICE プロセス新塾”も今年度は安全問題への技術対応を 4 講座強化し好評裏に運営されている。また例年以上に極めて優秀な塾生が育ってきているとの報告がなされた。

・新たな ECE プログラムの企画状況につき 2 件報告がなされた。一件目は NEDO と産総研の共同で企画中の AI に関する新 ECE プログラム開発である。デバイス、プロセス、アーキテクチャ、アプリケーションと垂直方向レイヤ積み上げの教育視点で、幅広い応用力を有する産業人材育成をめざす。現在準備作業、一部試行を始めており、2018 年度からの ECE プログラムスタートを目指している。二件目は現場技術者のハード設計能力強化に向けた、エレクトロニクス関係ハード技術者育成コースに関するもので、武田委員を中心にして“エレキイノベーション人材 ECE プログラム”の検討が進められている。

#### 4. 広報、HP 関係

広報委員会奥津委員長より資料 6) CPD 協議会広報委員会会議メモ (H29.1.17) を用いて広報活動状況の報告があり、資料 7) など関連事項も併せて概ね以下の審議がなされた。

・各学協会の広報雑誌に、CPD 協議会概要解説を広告の狙いで掲載して頂く予定にしている。そのための広報用パンフ原稿の作成を検討中である。

・日刊工業新聞「バルブの日」特集記事に、CPD アピール記事を掲載すべく、広崎 vs 奥津対談を行った。3 月 21 日発行の日刊工業新聞に掲載予定。

・HP コンテンツの充実化に向けたアイデアとして、HP の会員用 Box を改良して閲覧者からのコメントフィードバックの仕掛けを準備する案が検討されており、積極的に推進することとした。

・CPD プログラム委員会から報告された資料 7) の“CPD プログラムの目的”の文案を広報委員会で確認し、早期に HP 掲載することになった。また併せて、“CPD プログラム活動事例”の見出しを新設して会員学協会からの事例報告のアーカイブ化に備えることにした。

#### 5. 平成 29 年度春季シンポジウムについて

広崎委員長より資料 8) H29 年度春季 CPD 協議会公開シンポジウムについて を用いて春季シンポジウムの基本構想の説明があり審議が行われた。その結果以下の段取りが確認された。

- ① 開催日時は 6 月 7 日 (水) とし、例年同様、午前中を全体会議にあて、午後をシンポジウムにあてる
- ② 今回の基調講演者は第一候補として IRIS 科学・技術経営研究所のイリスヴィーツォレック社長を想定しており、CPD 先進地域であるヨーロッパの技術者人材育成状況のお話を頂く予定である。

③ H29 年度年間統一テーマについては過去の推移や産業界の要請を参考にして各委員からの提案を募る。

④ 基調講演のあとの講演は、春季は CPD 関連活動の事例発表となるため、CPD プログラム委員会の尾崎新幹事と ECE プログラム委員会の奥津幹事とで中味の検討を進める。また今回の発表から発表内容をHPの“CPD プログラム関係”の欄にアーカイブ化する。

#### 6. CPD 協議会次期運営体制について

新年度に向けて、CPD プログラム委員会の幹事が木村委員から尾崎委員に交代する。これに伴う電気学会からの新委員登録手続きを木村委員にて進める。また 6 月の日本工学会社員総会で新理事が決まることに伴い、広崎 CPD 協議会会長が退任して新会長に引き継ぐことになるが、CPD 協議会活動の連続性を担保するために暫くの間オブザーバとして運営の側面支援を行う。

#### 7. 次回会議について

次回の運営委員会の開催予定を平成 29 年 5 月 18 日（木）15 時～17 時とした。

以上